

平成30年度 第2回大阪府立吹田高等学校学校運営協議会

- 日 時 平成31年1月17日(木) 午後6時～8時
- 場 所 本校会議室
- テーマ
 - ・学校経営計画について
 - ・平成30年度の主な取組み(進捗状況)について

○出席者(敬称略、委員は50音順)

村田 徹・会長 大阪薫英女学院中学校・高等学校 校長
前田 武男 吹田市内在住
島田 雅弘 吹田市立片山中学校 校長
土井 実 鳳志会(本校同窓会) 副会長
古賀 千枝子 本校PTA 会長
眞鍋 眞 本校 校長

○事務局

手島 肇(教頭)、井上 薫(事務長)、磯原 健志(首席)、門野 正太(首席)

○議事

- ・学校経営計画、学校教育自己診断アンケートについて
- ・ブロック塀改修工事について
- ・意見交換

○委員から出された主な意見

【学校評価関係】

- ・教職員の取組み活動について、「すること」が目標ではなくて、「生徒がこう変わる」ことが目標であるはず。よって「評価指標」の設定の仕方についても工夫されたい。
- ・現在は進捗途中で未評価であった個所にも数値を入れていただいて、第3回目の会議では今年度のまとめをして、来年度への目標につなげて欲しい。
- ・「関々同立」合格者の目標設定数は高すぎないか。

【学校運営関係】

- ・経験年数の豊富な先生が多く退職した最近では、若手の教員を引っ張っていく雰囲気はあるのか。自分の意見が他者と違っても、学校としての目標達成のために力を合わせて努力してほしい。
- ・中学校でも出退勤システムが導入されているが、限られた勤務時間の中でいかに教育の質を落とさずに活動をするかが問われている。

教科間、担任間、分掌間などでこまめな状況共有が大切だと思っている。

- ・最近の生徒の登下校風景をみていると、生徒の交通マナーは随分向上しているように感じる。
- ・国際交流の中身について、国内で「グローバル人材」を育成する方法はいろいろあると思うので研究して欲しい。
- ・求人数が1200件と大きく増加したのには、先生方のアクションがあったのか。先生方が、一人ひとりきめ細かく進路指導をされているのは安心感がある。

